



薫風

5月号

R8年度

学校教育目標

「心豊かに 共に伸びゆく生徒」

— 時を守り 場を清め 礼を正す —

発行：八條中学校 Tel936-2121

さわやか相談室 Tel935-6728

<http://www.yashio-hachijo-jh.ed.jp/>

明るいあいさつ

校長 金塚 和美

風薫る五月、新緑の香りを運ぶ爽やかな季節の到来とともに、生徒たちも新しい環境に少しずつ慣れ、学校活動もいよいよ軌道に乗り始めてきました。特に一年生は、日々の授業や様々な活動を通して、表情が少しずつ中学生らしくなってきたことを嬉しく感じています。

入学式と始業式で、中学校生活で心がけてほしい二つのことを伝えました。そのうちのひとつが「認め合う」ということです。

中学校では、自分で考え、正しく判断して行動する場面が多くなります。その際、自分のことだけでなく、周りの人の思いや立場に目を向けられるかがとても大切です。一人ひとりがかけがえのない存在です。自分を大切にするとともに、周りの人も大切にし、互いを認め、高め合える関係を築いてほしいと願っています。

そのために、まず大切にしてほしいのが「あいさつ」です。あいさつは、相手の存在を認め、尊重する姿勢を示すコミュニケーションの第一歩です。毎朝、通学路で交通指導をしていると、元気にあいさつをしてくれる生徒がたくさんいます。本校の自慢である「明るいあいさつ」を交わすたび、そこから新しい対話が生まれるのを実感します。地域の方も交通指導をしてくれています。活動してくださっている地域の方々へあいさつをすることは、自分たちを見守ってくれる存在を知り、感謝や親しみを感じるきっかけにもなります。また、あいさつを通して自分の存在を周囲に「認められる」ことは、自己肯定感を高め、集団の一員であるという安心感につながります。気持ちよくあいさつを交わすこと、この積み重ねが、より良い人間関係を築く土台となるのです。

これからの中学校生活で、お互いの意見や考えの違いを認め、協力し合い、高め合える関係をつくり、自分も周りの人も大切に思う思いやりのある中学生になってほしいと思います。互いに認め合い、切磋琢磨しながら、この一年間でさらに成長してほしいと思います。

ご家庭におきましても、ぜひ日々の何気ない会話やあいさつを大切にされ、お子様のありのままを認め、励ます温かな言葉かけをお願いいたします。八條中学校が、生徒一人ひとりにとって「認められ、安心して挑戦できる場所」であり続けるよう、共に歩んでいただければ幸いです。